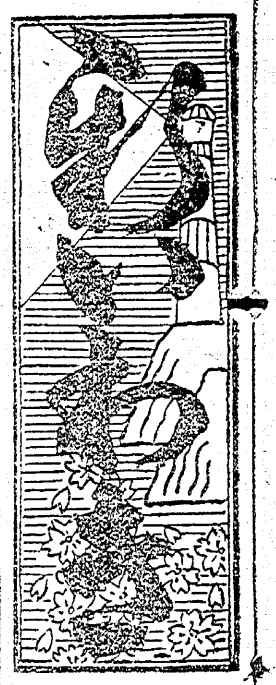
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十年十一月二十六日〔日刊〕　新いわき　〔火曜日〕第一千六百二十九號　（一）

十一月二十五日　夕刊



日刊紙　郵便物認可
定價　一ヶ月二十五錢　郵税十五錢　一部四錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　賦金錢
發行兼編輯人　平谷政吉
發行所　福島縣平市大町二三
新いわき新聞社

平町との合併に好感を有つ平窪

村當局を初め擧村有志の意向　案外早く實現の模様

市制施行の準備に奔念する平町の隣村合併交渉は既報の如くであるが比較的順調に經まるだらうと見られるものは飯野及び平窪村で就中平窪の全村に於ける情勢は平町との合併に好感を持ち既に都字計畫に村の大半を劃されてゐる關係もあり此の際乘つて相携ふることの得策を有志の間に語られてゐる同村の現勢は

賦課戸數四百五十戸、十年度豫算總額二萬四百七十九圓で内村税收入一萬一千六百三十五圓の中に於て五千六百七十四圓の特戸割を徴する一戸平均額は十二圓六十錢であるが教育費に一萬一千八百十六圓を要し村有財産としては山林が主なるもので三万數千圓に止まり負債皆無の謂はゞ小さく堅い自治經營に樹つてゐるが平町に接する區域が相當に擴く市制施行後の膨張に惠まれるものが決して尠なくない而して同村側に問題に視されるものは爾後の特別戸數割であるが平町現在の平均額十七圓五十錢を直ちに平窪村の賦課戸數四百五十戸に算當さるべきものではなくて富の程度による關係から現徴收の同程額五千六百七十四圓を超えるが如きものなしと見られるものに對して平町側の合併を望む所似は資源をつくるべき諸工場の勸奬建設に土地狹きが爲めで市としての大集團力に携ふるを不利ならずとされ現に同町が縣營に移さんとする意圖を以て移轉新築を心組む平商業學校の如き合併によつて好地を提供するの有利を唱ひられるなど同村との合併は案外早く實現するものでないかと見られてゐる

内郷の傷害致死

賭賻の差引が因

刺身庖丁で混棒の渡り合ひ　金一圓也の催促から

石城郡内郷村の宮字台居住日産業桑原留次郎(四一)は去る二十三日午後三時頃同地居住の吉田好太郎(五二)方へ貸金の催促で訪ね有合せの燒酎を飲み交はして酔ふた揚句留次郎の催促する金は好太郎が同村小林春吉なるものから借たものである所から口論の末桑原は携へたる刺身庖丁を以て吉田の腹部に斬つけたので之れに昆棒で渡り合ひ大立廻りを演じ互に重傷を負ふて最寄醫師の手當を受けたが昆棒で後頭部を強打された留次郎は昨廿四日午前四時頃遂に絶命平檢事局かゝ溝田檢事出張藤沼醫師により死体解剖に付され犯人關係を取調べ中であるが左脇腹を斬られた好太郎は生命に別條ないらしい爭ひの原因は前記の如く桑原に一圓を借りてゐる小林は吉田に一圓貸してあるので吉田で拂へば返さうと云つた催促からで其の貸借關係も賭賻によるものと云はれて居り之れ等は何れも前科數犯を有し附近から嫌はれてゐる强たか者であると

ダットサン乘逃げ

大津町で捕へらる

黑色ギヤング相澤尚夫の一味　賣つた金の殘り僅かに百圓

石城郡小川村生れ自動車運轉手加藤甚一(三五)が東京から借りたダットサンを乘逃げし磯原町で五百圓に賣却逃走せることは既報の如く其筋で行方嚴探中であつたが去廿三日午後三時茨城縣大津町で遊興中を松原署に捕へられ同人の懷中には僅か百圓を殘すのみなるも東都に於ける黑色ギヤング相澤尚夫の一味と見られる事情から四百圓の費途を嚴重取調べ中であつて尚ほ甚一は本年八月の簡閲點呼を忌避し目下小名濱町に居住する實父準貞にも所在不明でゐたものであると

安全確實な收穫に

耕種改善協議會

本年の冷害實況に鑑みて　凶作を追ひ拂ふ研究

石城郡に於ける本年の冷害は殊に山村に慘めなのと例年好順な天候に惠まれた郡南平坦部落では比較的收穫の多い晩稻のみを撰んだ爲めに慘害を受けてゐるが其の中に於て山村、平坦部共に指導地だけが凶作に遭はない事實に鑑み縣では吉成駐在技手を以て今後の對策と凶作防止耕種改善協議會を來る二十八日から左記の各地に開催部落の代表者並に農事實行組合長その他の關係者と會して協議を練つた決定案を原案として農會農試並に縣農務當局の意見を求め安全確實な平均收穫を得る理想的な農業を樹つべく努力の筈であるが縣の奬勵品種が何れも冷害に遭つてゐないものから見ても研究の結果は不可能な業でないと云はれてゐる

廿八日川前村　二十九日田人村　十二月二日澤渡　三日永戸村(以上)

本年初めての玉川農産品

蔬菜に見事な成績

石城郡玉川村では農會の主催で今二十五日から廿七日まで三日間同村小學校に農産物品評會を開催されたが本年初めての試みで青山郡農技師審査の上最終二十七日に褒賞を授與される出品約五百點と云はれ同村に於ける蔬菜類の栽培は湯本及び小名濱の兩町を控いて近年非常な成績を上げて來たと

上下小川の農産品評

農會主催で本年第一回の催

石城郡上下小川組合村農會主催を以て本年初めて試みた同村農産品評會は去る二十三、四日の兩日小學校に於て催されたが出品百八十一點に對して青山郡農技師の審査により二十四日午後二時左記を褒賞した同會の成績は特産地であるだけに蜂屋柿に申分はないが蔬菜では人參及び牛蒡が優良で當業の奮發により將來有望である大根類は成績が惡く今後耕作上に注意すべきものがある尚上小川村が全出品の三分の一に足らざる不熱心は遺憾であると

一等柿鈴木采女外四點　二等牛蒡荻野慶次郎外九點　三等大根箱崎德一外十九點　四等四十四點(以上)

豐間で側溝の施工申請

二百五十六米の殘工を單獨で行ふと

石城郡豐間村の街路縣道平江名線の同村字柳町及び八幡町通りは側溝不完全のため降雨毎に濁水路上に溢れ且つ下水内に停滯する汚物の氾濫は衛生交通兩方面に良くないので縣では昭和九年度に方て延長二百米の側溝工事を行ひ次へで本年度は凶作對策土木事業として百二十六米の同工事を施行したが尚ほ二百五十六米五を殘してゐるので大字豐間區單獨を以て同工事を完成したい申請を今二十九日區長代理遠藤專氏から平土木監督所を經て知事宛提出した

健康週間施行の事項打合

廿七日平署にて

平署では來る三十日から來月六日に及ぶ健康週間施行に關し來る二十七日午後一時同署會議室に於て郡醫師會並に同齒科醫師會、産看婦、貸座敷理結髮、牛乳當業その他を招集し協議をなすと

健康相談の巡回診療日割

來る三十日から一週間の健康デーに於て縣では左記巡回診療日割を以て健康相談所を開設すると

三十日植田町　一日平町　二日四倉町　(以上)

豐間村長再選

石城郡豐間村では昨二十四日村長滿期の選擧村會を召集したが現村長鈴木藤治郎氏の再選に決した

平鐵道優勝

磐陽野球決勝戰

磐陽野球大會の決戰は去る廿三、四の兩日湯本町營グラウンドに於て續行されたが戰績は左の如く平鐵道に優勝旗を獲得されて午後三時散會した

廿三日準決勝平鐵對高月一三對五で平鐵勝▲二十四日同入山對磐炭一八對六で入山勝　決勝平鐵一〇對入山二で平鐵優勝

自動車檢査所落成式

二日四支部聯合で

縣自動車協會平、植田、四倉富岡警察署管下四ヶ支部聯合で平町字八幡小路に設置された自動車々台檢査所落成式は來る二日午前十時擧行の筈で地元平町が主となり諸準備中であるが當日は四ヶ支部當業百二十名の外來賓を合せて百五十名に達するらしく式後簡單な祝賀宴を催すと

納稅功勞表彰と組合加入の勸誘

石城郡小名濱町では納稅奬勵デーの去る二十三日午前十時同役場に於て納稅功勞者志賀辰治氏外四十五名に對し小野町長の表彰あつたが尚ほ同町に於ける納稅組合未加入六百七十一戸に加入を勸誘すべく協議の結果努力中であるが今回の週間に於て少なくも三分の一を加入させたい見込みである

癩病の話〔八〕

大森勇

癩病は癩桿菌に依つて發生する傳染病であつて、遺傳病ではない。血統的にこの病氣が發生すると云はれたのは、家族にこの病人があれば、衛生思想の發達せぬ時代には、親から子、兄から弟と家族的に傳染したのである。病人を隔離して傳染の機會を斷てば如何にその血統の人でも癩病に罹る筈がないのである。何代か昔の古い血統にこの病人があつたとか、親の實家の本宅にこの病人があつたとか云ふ理由で、この病氣に罹る事を心配するのは、杞の國の人が天の墜つるのを憂へて寢食を忘れたと同樣に愚の骨頂である。元來癩病患者は受胎力は非常に衰へてゐるもので、三十%位に減つてゐると云はれて居る。受胎しても死産が多い生れても一年以内位で死ぬのも多い。外島保養院で明治四十三年から昭和二年迄の間に癩患者から四十二名の子供が生れたが、死産が六名一年以内に死亡した者が二十二名あつた。だから生き殘つて成人した者は、受胎した者の三分の一に過ぎぬ事になる。生き殘つた十四名の中で。大きいのは十八才になるのもあるが生れるとすぐ兩親より隔離した者は、一人もライ病に罹つて居らぬ。たゞ一人發病した者があつたが、之はライ病の母親の許で五ヶ年間養育されたものであつた。生れると直ぐ隔離した者には一人の發病者もなく、ライの母親の許で養育した者丈け只一人發病した事は、この病氣は傳染病であつて遺傳病でない事を雄辯に物語つて居るのである。

講演

ミュテーション

ミュテーションは相互の意、メンデルを信ずる者に進化論を信じられぬと云ふが今日の科學では双方を信じてる何となればミュテーション。セリオによつて兩立し得るなどと云ふ

穀檢規則の改正要點

（2）　縣穀檢本所述

また本縣外から移入した穀物でも本縣外で生産せられたことが確認し難いものは本縣内で生産せられたものと看做します、此の外縣内で受渡する穀物でも希望によつては移出檢査を行ひます、

二、一包裝の正味量

檢査を受くる穀物の正味重は從前と少しく變りまして二斗または三十キログラム容れは廢止になりました、

（一）玄米、精米、四斗または六十キログラム（十六貫）重量で移出檢査を受けた玄米には包裝に重量記號を押捺します、

（二）小麥、菜種、六十キログラム（十六貫）特別の事情あるものは許可を受けて特殊の容量又は重量でも檢査を受けられます、

三、穀物の包裝、

包裝の標準は少し變りまして次の通りであります、

（一）縣内受渡する磐城、岩代米産地々方の玄米、精米小麥一重俵、

（二）縣外に移出する磐城、岩代米産地々方の小麥一重俵、

（三）縣外に移出する磐城、岩代米産地々方の玄米、精米一重俵、

（四）菜種及び會津米産地々方の玄米、精米、叺一叺は菜種及び會津米産地々方の外は許可がなければ檢査を受くる穀物に使用が出來なくなります、

一度使用した包裝は檢査史員の承諾がなければ檢査を受くる穀物には使用が出來ません、前に述べた銘柄は玄米、精米だけで小麥、菜種には無くなりました、

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町出町

産婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内科　木宗八
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

便利で經濟な　日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいます
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平町字出町十八番地（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話（呼）一八九番

新案特許
防寒眞綿入肌着
柔軟にしてお召し心地よく輕くて暖かく眞に理想的お肌着
シヤツ　￥5,00　5,50
チヨツキ　￥3,50　4,50
ベツチ　￥3,80
お洗濯は手輕に出來ます
ヒ　ツルヤ
平町　電話一四〇番

鼻の諸病に快鼻湯
有効保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く
（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局
磐城平町一丁目（電話六九九番）
振替口座仙台（八八七六番）

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
治療代…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所　日中は城山樂樂園（電話一〇九）　日没後は一丁目自宅（電話四七〇）
醫療士　飯田近治

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵　十五錢（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番

貨物自動車（トラック）の御用命に應じます

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）磐田女學校前
入院應需　鈴木醫院

洋服は
高島屋
注文並に既製品
冬物▽入荷▽
高島屋洋服店
平町二丁目　電話三八六

（磐城共濟病院）　福島縣平町電六四一
内科　院長　醫學博士　石山謙郎（電話六四一番）
小兒科　部長　手醫學士　佐藤尚輔
産婦人科　部長　醫學士　黑澤廣
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正（電話二七二番）
X線療物科　醫學博士　石山謙彪郎
技術員　石山
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
…病室完備　…入院隨意

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一　電話一六番
平町二丁目
事務取扱者　阿部助次郎